

①【基本データ】

建築場所	名古屋市
実証開始時期	令和4年9月
建築面積	81.43 m ²
構造	木造平屋建て住宅

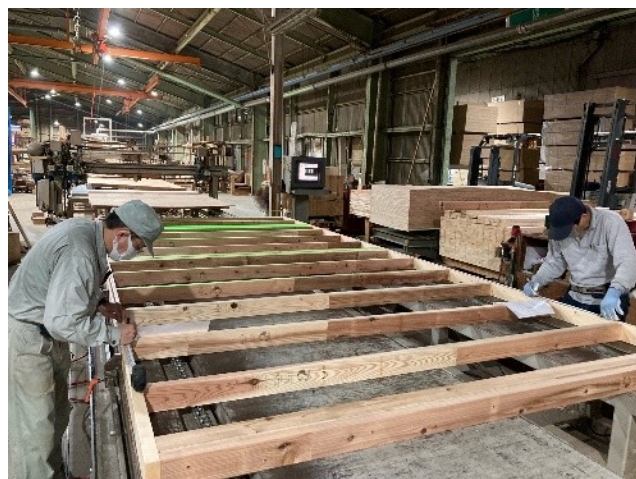


【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産 2×4 材の調達	外国産材は様々な要因により価格が変動し、安定調達が困難だが、県産材に関しては価格と供給の安定性が期待できる。	- 外国産材から国産材に切り替える動きが増加しており、国産材と同様に県産材についても価格上昇と量の確保について懸念がある。 - 燃料費の値上げによる配送コスト増も課題。
② パネル施工	スタッドの反りが少なくなった。	- 節が大きいと釘が打ちにくい時がある。 - 見た目の印象が悪い。
③ 現場施工	- 糸を引いた時に通りが良い。 - 反りが少なく施工は楽。ただし作業時間が短縮されるほどではない。	施工自体に問題はないが、フィンガージョイント部分の見た目や節の大きさにより、お客様に悪い印象を与えてしまう懸念がある。
④ 内装壁材の施工	柱を削る手間が減った。ただし施工時間短縮までとはいかない。	

②【基本データ】

建築場所	名古屋市
実証開始時期	令和4年10月
建築面積	222.62 m ²
構造	木造2階建て集合住宅



【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産 2×4 材の調達	材の反り、ひねりが少なく寸法精度が高い。	標準スタッド以外の材が受注生産の為時間がかかる。
② パネル施工	寸法精度が高いために選別がほぼ必要なく、作業効率が上がる。	- 普段 SPF を使用しているので県産材との入れ替えが必要となった。 - 普段在庫している合わせ柱も新たに製作が必要となったので施工時間は相殺された。
③ 現場施工	建て方工事には変わりがなかった。	特になし。
④ 内装壁材の施工	寸法精度が高いためボード貼りの手間が減った。	SPF より硬いため多少ボードビスが入りにくい。

③【基本データ】

建築場所	安城市
実証開始時期	令和4年9月
建築面積	140.35 m ²
構造	木造2階建て住宅



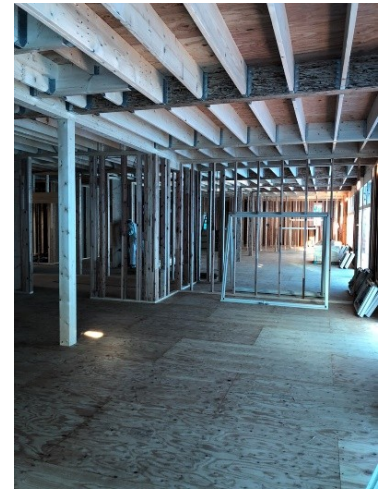
【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産2×4材の調達	・国際事情や為替等価格変動リスクが調達に影響しないので納品までのリードタイムが短くて済む。 ・国内に在庫があるなら外国産材と比較し安定調達ができる。	・現状は県産材の方の価格が抑えられているからよいが、要因によっては逆転する可能性もあり、その時に引き続き県産材を使い続けられるのか未知数（生産量や供給量など）。 ・切り替えるにはリスクも伴う。
② パネル施工	・寸法精度が良い。 ・想定通りの加工時間で想定通りのパネル枚数が生産できる。	・大きい節があるところに釘が当たると容易に割れることがある。 ・それによる材料と加工時間のロスは寸法精度が高いだけに目立つ。
③ 現場施工	・材自体が若干軽いので作業者の負担が軽減される。	・節の部分に釘が当たると割れが起きるので、現場では注意が必要。
④ 内装壁材の施工	・寸法精度に狂いが少ないため、カナ掛け等の微調整はほぼ不要。 ・施工時間の予測ができる。	・躯体と同様に節の部分にビスが当たると割れが発生するため、補強や下地の追加として材料を入れる手間を

		要することがある。
--	--	-----------

④【基本データ】

建築場所	安城市
実証開始時期	令和4年10月
建築面積	863 m ²
構造	木造2階建て老人ホーム



【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産 2×4 材の調達	・愛知県内に愛知県産材の生産拠点ができれば供給量、コスト面でもメリットが大きい。	・愛知県産材の認知度がまだ低い。 ・規格が 2×4 と 2×6 に限られるため、幅広材の 2×8、2×10 の供給体制を原木調達の段階から考慮する必要がある。 ・大型工場の進出。
② パネル施工	・フィンガージョイントのため、寸法精度が良好で歩止まりが向上した。 ・海外産 SPF スタッドより歩止まりが格段に良い。	・釘の保持力が若干低いため対応を要する。 ・JSⅡ 樹種群甲種 2 級で圧縮、曲げで数値が若干 SPF に劣るため、構造計算事案には使用数量が増える傾向にある。
③ 現場施工	・材質が柔らかいため加工しやすい。 ・調整が容易で作業効率が向上。	・釘の保持力確保のために決められた釘ピッチの厳守。 ・広い場合やめり込み時には打ち増し

		をする等配慮を要する。
④ 内装壁材の施工	・製品の寸法精度が高いため、段差が解消され仕上がりムラの減少が図られる。	・ネジの保持力に若干の不安があるため長めのネジで対応する必要がある。

⑤【基本データ】

建築場所	岡崎市
実証開始時期	令和4年12月
建築面積	96.06 m ²
構造	木造2階建て住宅



【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産2×4材の調達	・1社のみからの供給のため不安がある。 ・県内の原料で生産拠点があればコスト面でもメリットが大きい。	・国産材2×4材の認知度は徐々に高まりつつあるが、県産材としてはまだ低い。 ・規格が2×4と2×6に限られるため、2×8、2×10の供給体制を原木調達の段階から考慮する必要がある。
② パネル施工	・フィンガージョイント加工のため、寸法精度が良好で歩止まりが向上する。	・釘、ビスの保持力が若干低いため、対応を要する。 ・材質が柔らかいため釘のめり込みが多く、機械のエア調整が必要。
③ 現場施工	・材質が柔らかく加工しやすい。	・釘の保持力を確保するため釘ピッチ

	・高精度のため現場での作業がしやすい。	を狭め、めり込み等には増し打ちをする等配慮が必要。
④ 内装壁材の施工	・製品の精度が高く仕上がりの向上が図れる。 ・内装仕上げクレームが軽減される。	・ねじの保持力に若干不安があるため長めのねじを推奨する。 ・施工ピッチが決められているため大節部分にはビス、釘等の保持力が担保できない。

⑥【基本データ】

建築場所	名古屋市
実証開始時期	令和4年11月
建築面積	398.28 m ²
構造	木造3階建て集合住宅

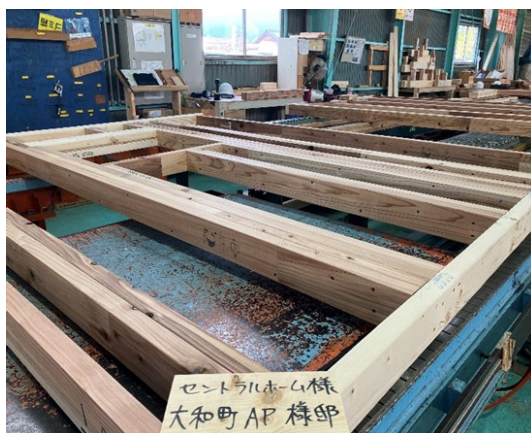
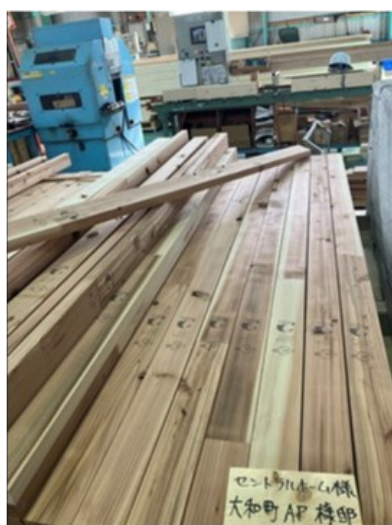


【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産 2×4 材の調達	・パネル会社からの案内で支障なく行えた。	・必要量を必要なタイミングで継続的に供給してもらえるのか不透明。 ・安定的な価格となるのか不安が残る。
② パネル施工	・フィンガージョイントであるため、寸法精度がよかった。	・大きな節があるため、選別の時間が少し必要。
③ 現場施工	・フィンガージョイントであり、材料精度が良かった。	・節に釘打ちしてしまうと割れや打ち損じにつながるため、節の位置に気を付けて釘打ちを行う必要がある。
④ 内装壁材の施工	・材料精度が良いため施工しやすかった。	・ビスのめり込み具合や節を避けたビス打ち等、石膏ボードを貼る際に節の位置に気を付ける必要がある。

⑦【基本データ】

建築場所	半田市
実証開始時期	令和4年12月
建築面積	210.74 m ²
構造	木造3階建て集合住宅



【担当者のコメント】

	県産材の利点	県産材の課題
① 県産 2×4 材の調達	・パネル会社からの案内で支障なかった。	・安定して継続的に供給できる体制が必要。 ・安定した価格での供給が必要。
② パネル施工	・フィンガージョイントであり、材料精度がよかった。	・大きな節があるため、少し選別の時間が必要。
③ 現場施工	・フィンガージョイントのため曲がり小さかった。 ・SPF材と比べてひねりがなかった。	・節に釘打ちしてしまうと割れてしまうため、節の位置に気をつけた。
④ 内装壁材の施工	・寸法精度がよいため、材料の段差などが少なく施工しやすかった。	・節に釘打ちしてしまうと入らないため節を避けるよう注意した。